

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

三陸復興

第107号

平成28年6月15日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

2016 希望郷
いわて国体まで

108日

2016 希望郷
いわて大会まで

129日



龍泉洞の水で化粧水を共同開発、6月25日販売開始

岩泉町

平成28年5月26日（木）、「ドラゴンブルー」の地底湖で知られる龍泉洞（岩泉町）の天然水を使った化粧水「ミネラル天然水から生まれた龍泉洞の化粧水」の記者発表が行われました。

この企画は、いわて未来づくり機構が進める復興支援事業「いわて三陸復興のかけ橋プロジェクト」を通じて実現したもので、化粧水は、町

の第3セクター（岩泉乳業株式会社・株式会社岩泉産業開発）と日本ゼット株式会社（東京都新宿区）で共同開発されました。

各社の女性社員による開発チームで使い心地を追求した、サラリとした質感と、保湿力の高さが特徴です。

岩泉乳業の山下欽也社長は「地場から発信するロングセラー商品に育てていきたい。手にとった人が岩泉

を思い出して足を運んでくれたら嬉しい。」と、発売への意気込みを述べました。

この化粧水は、今月25日に町内で開催される「第2回岩泉ヨーグルト工場まつり」で販売を開始し、同日以降、町内の道の駅や地元のホテルでも取り扱われます。今後は、県内、全国へと、順次販路を広げていく予定です。



化粧水への思いを語る岩泉乳業の山下社長



龍泉洞をイメージした青いボトルが特徴



開発チームの女性社員

「第3回大槌町長杯 大槌湾カレイ船釣り大会」開催

大槌町

平成28年6月5日（日）、「第3回大槌町長杯 大槌湾カレイ船釣り大会（主催：復興まちづくり大槌株式会社）」が開催されました。

この大会は、日本有数の漁場として知られる三陸の海を満喫してもらい、復興の後押しにしよう企画されたもので、釣り上げた25センチ以上のカレイの総重量を競います。

午前5時30分、町内外からの参加者139人は19隻の釣り船に乗り

込み、大槌湾はじめ船越湾や両石湾へと繰り出し、計9,890グラム（24匹）を釣り上げた、田中隼人さんが優勝しました。

表彰式会場となった大槌魚市場では、町婦人会連合会による「サンマのつみれ汁」のお振る舞い、向川原虎舞の披露、ホタテ釣り大会なども行われ、地元住民と参加者は、笑顔の中で交流を深めました。

平野公三大槌町長は「これからも

大槌の季節の風物詩として交流人口を増やしていきたい。」と、大槌の魅力発信への意気込みを述べました。



表彰された入賞者（写真前列左：優勝した田中さん）

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016 希望郷 いわて国体 2016 希望郷 いわて大会

野田村



正式競技 ▶ 軟式野球 期間 ▶ 平成28年10月2日（日）・3日（月）・5日（水）
会場 ▶ ライジング・サン・スタジアム（野田村総合運動公園内）
デモンストラーションスポーツ ▶ ウォークラリー
お問い合わせ ☎ 0194-78-2936（野田村役場 教育委員会事務局）

野田村 INFORMATION

岩手県沿岸北部に位置する人口約4,400人の村です。総面積80.80平方キロメートルの小さい村が、地の利を生かした歴史ある塩づくりや高地で栽培している山ぶどうを使用し色々な商品を販売しております。荒い海で養殖されている海の特産品の荒海ホタテ、荒海カキや荒海ワカメなども好評を得ております。一度は、野田村に来て『食べでってけでえ〜！』



山ぶどう

